

津波

津波は突然やってきます

津波は突然やってきます。東日本大震災のような思いもよらぬ大規模な津波に襲われたり、昭和35年のチリ地震津波など、遙か遠い場所で起こった地震による遠地津波が本市にも重大な被害をもたらすこともあります。揺れを感じたら、とにかく高い場所へ逃げるのが重要です。津波警報・津波注意報が解除されるまでは油断しないようにしましょう。



○大津波警報・津波警報は、テレビやラジオなどの放送のほか、広報車、防災行政無線などで伝達されます。



○いち早く海岸から離れ、避難してください。
○海水浴等により海岸保全施設等よりも海側にいる人は、「津波注意報」でも避難が必要です。



○近くの高台や津波避難タワー、津波避難ビルなどに避難してください。



○しばらくは避難継続してください。(津波は繰り返し襲ってくるので、大津波警報等が解除されるまでは気をゆるめない。)
○時間と余力がある限り、海岸から離れた、より安全な高台などに避難してください。

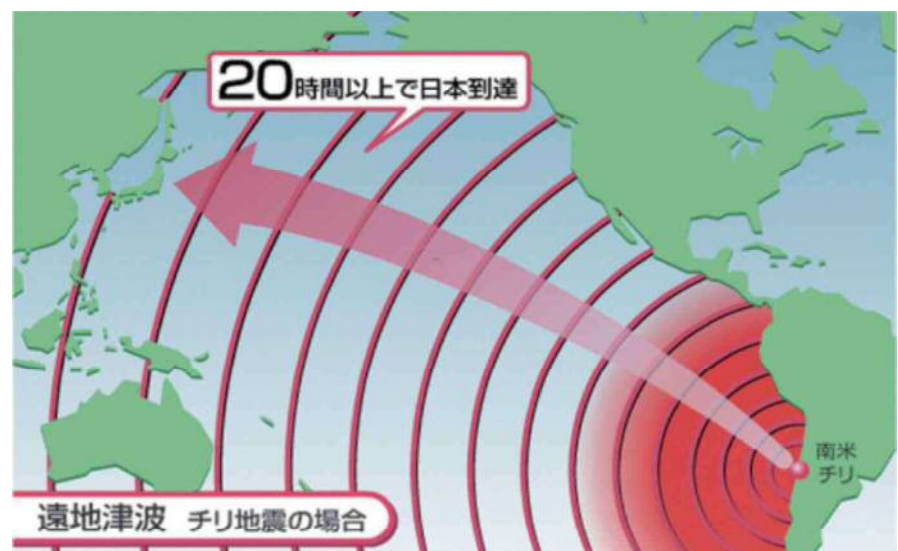
【出典】総務省消防庁 | 「津波災害への備え」

遠地津波 (日本の裏から襲う津波)

1960年5月に発生したチリ地震は、有史以来観測された中で最大規模の巨大地震で、最大震度は気象庁震度階級では震度6相当とされています。

この地震発生から約22時間半後の5月24日未明に津波が三陸海岸沿岸を中心に襲来し、久慈湾では4.5mの津波が襲来し、大きな被害が発生しました。

その50年後の2010年2月にもチリ地震が発生しており、久慈港でも1.2mの津波が襲来しています。



【出典】総務省消防庁 | 「津波災害への備え」